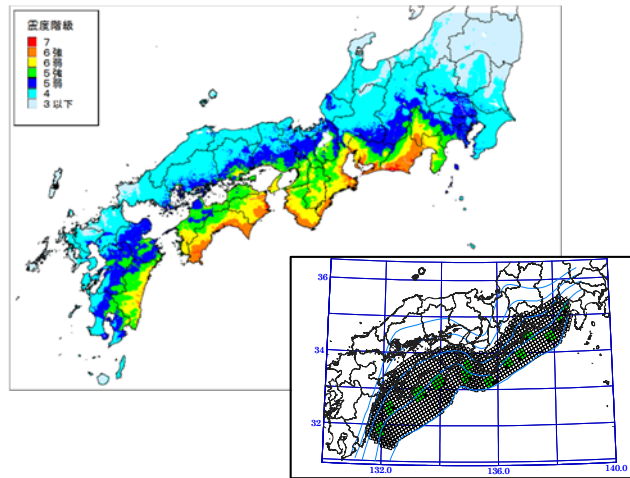


## 5 南海トラフの巨大地震による震度分布・津波高

# 南海トラフの巨大地震による最大クラスの震度分布

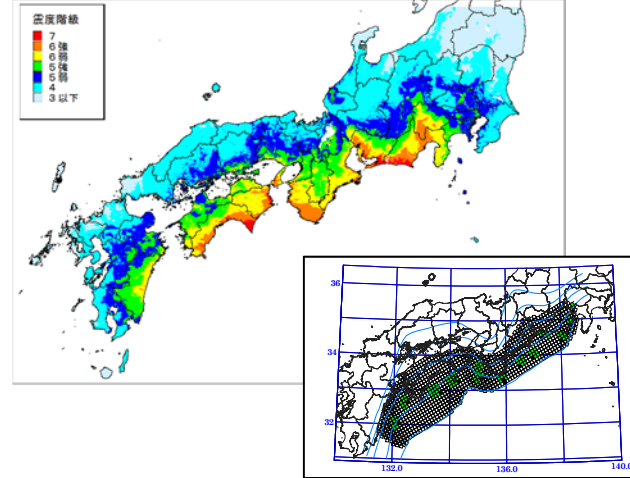
## 強震波形計算による震度分布

基本ケース



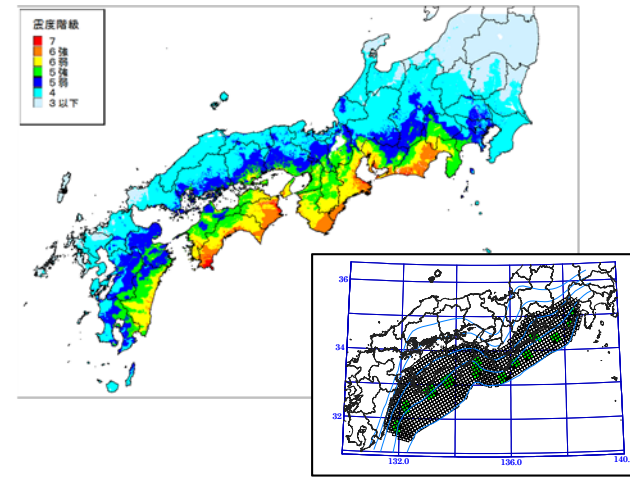
強震動生成域の配置

東側ケース



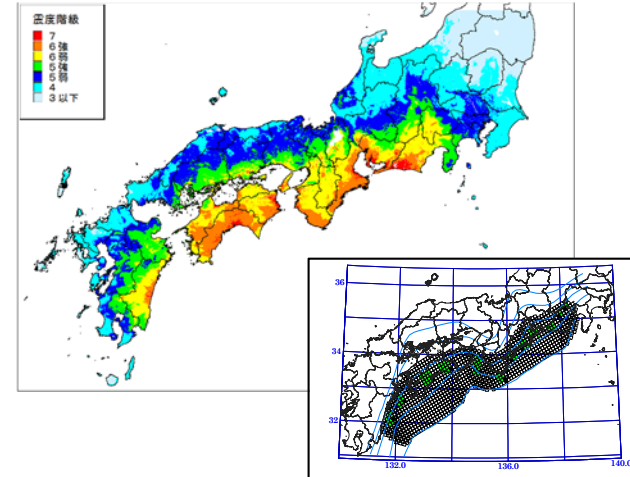
強震動生成域の配置

西側ケース



強震動生成域の配置

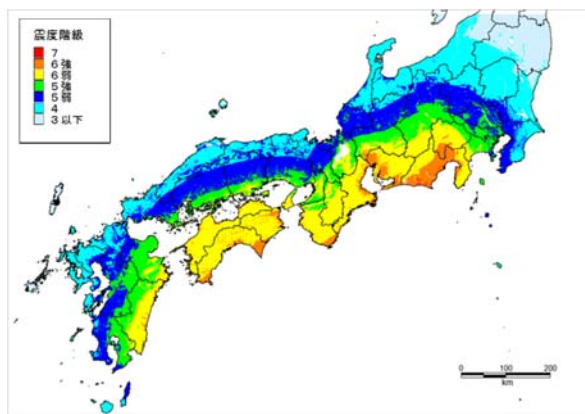
陸側ケース



強震動生成域の配置

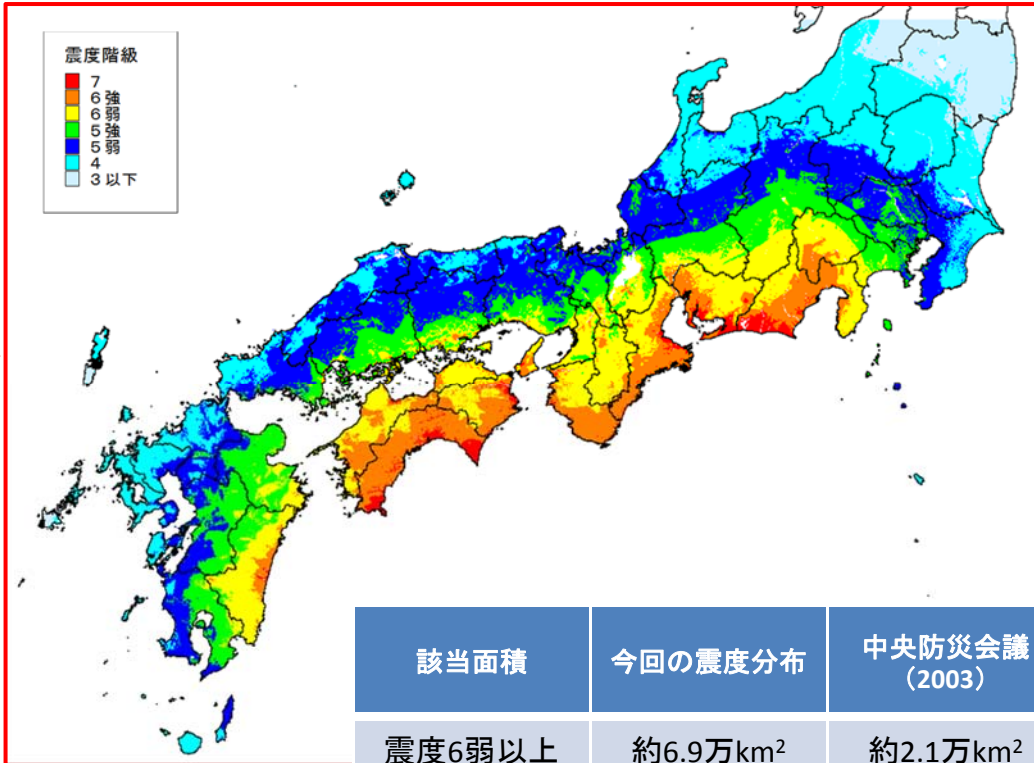


## 経験的手法による震度分布



## 【最大クラスの震度分布】

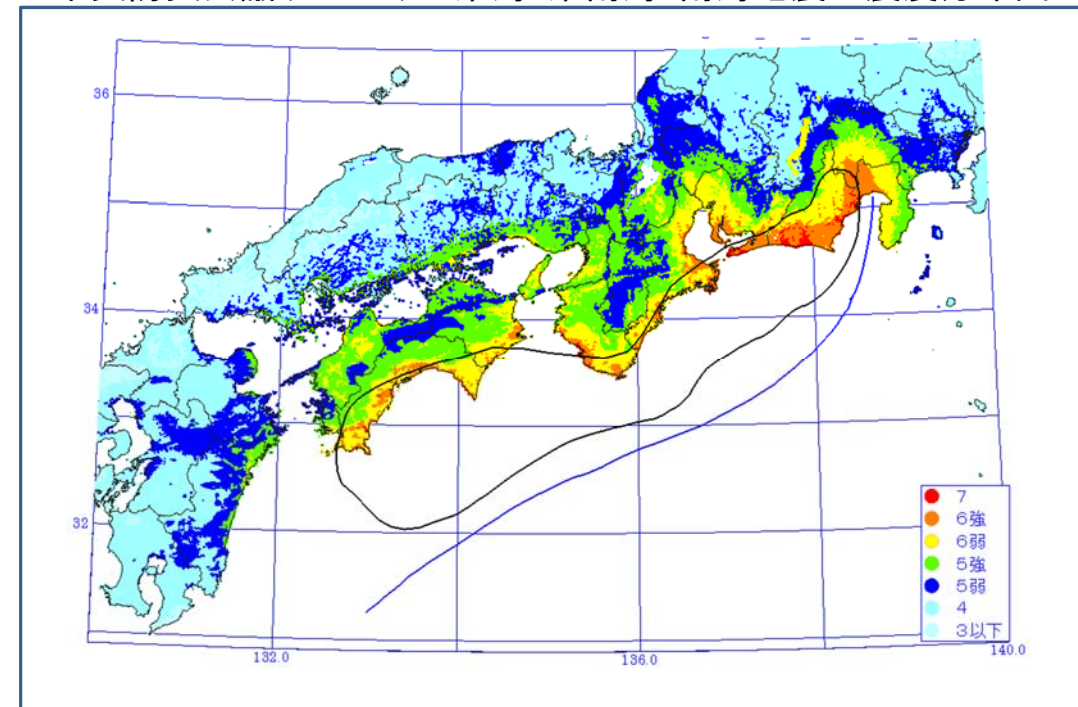
強震波形4ケースと経験的手法の最大震度重ね合わせ



該当面積	今回の震度分布	中央防災会議 (2003)
震度6弱以上	約6.9万km <sup>2</sup>	約2.1万km <sup>2</sup>
震度6強以上	約2.8万km <sup>2</sup>	約0.5万km <sup>2</sup>
震度7	約0.7万km <sup>2</sup>	約0.03万km <sup>2</sup>

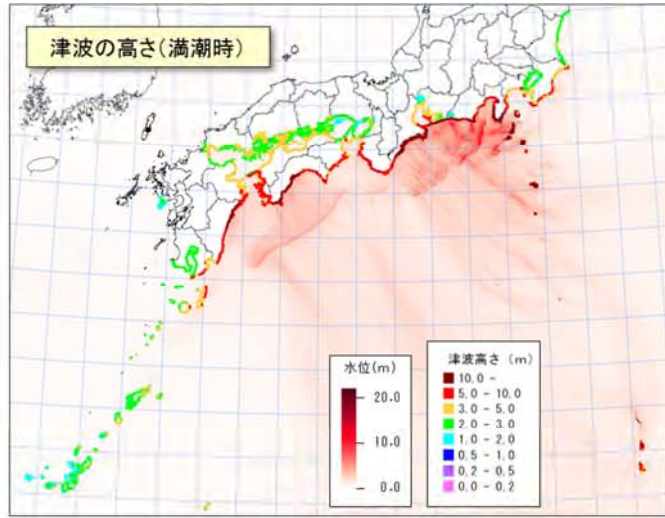
## 【参考】

中央防災会議(2003)の東海・東南海・南海地震の震度分布図

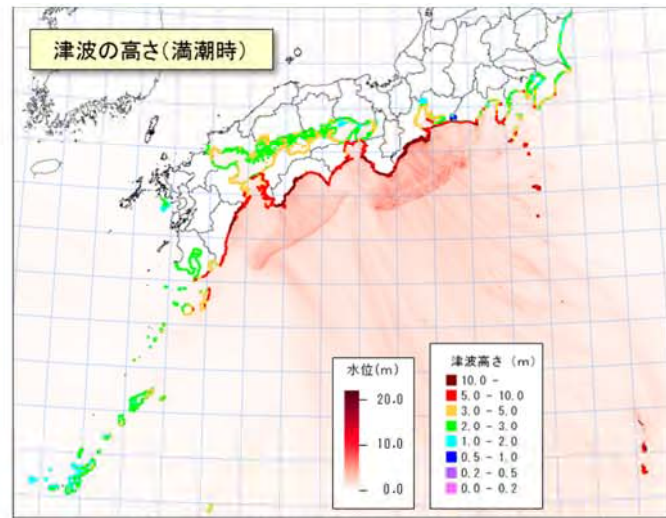




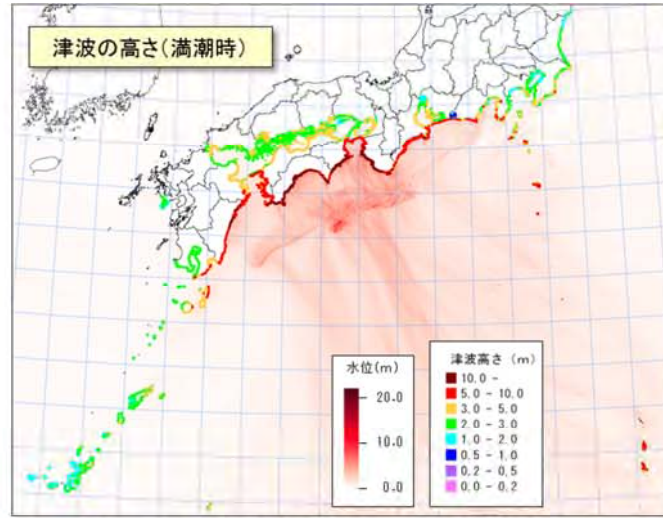
# 南海トラフの巨大地震による最大クラスの津波高(分布地図) <満潮位>



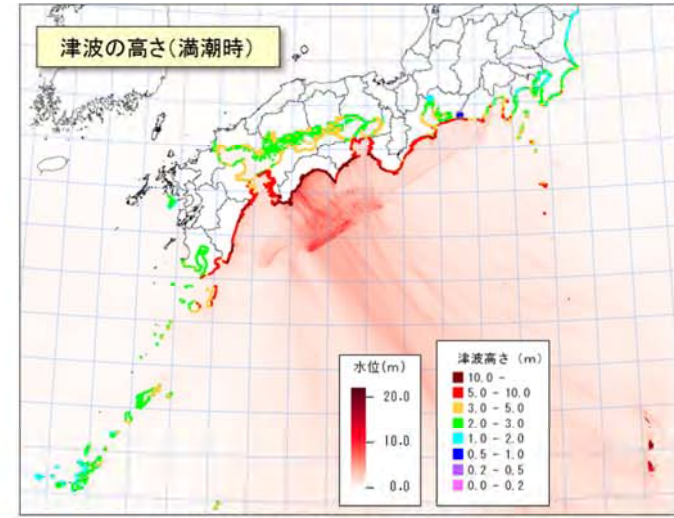
【ケース① 駿河湾～紀伊半島沖に大すべり域を設定】



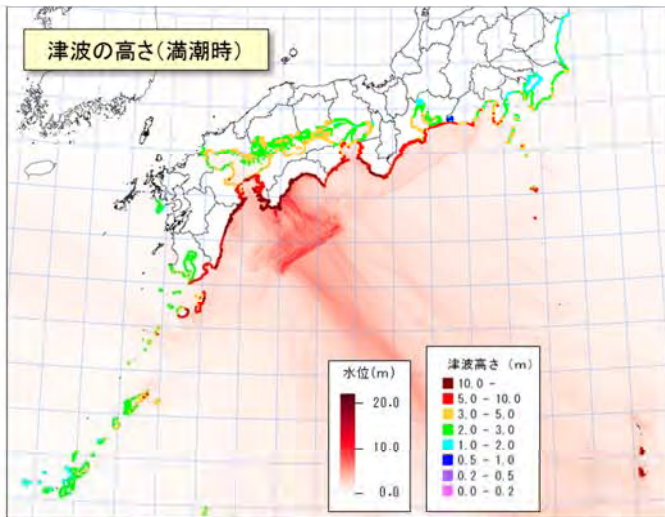
【ケース② 紀伊半島沖に大すべり域を設定】



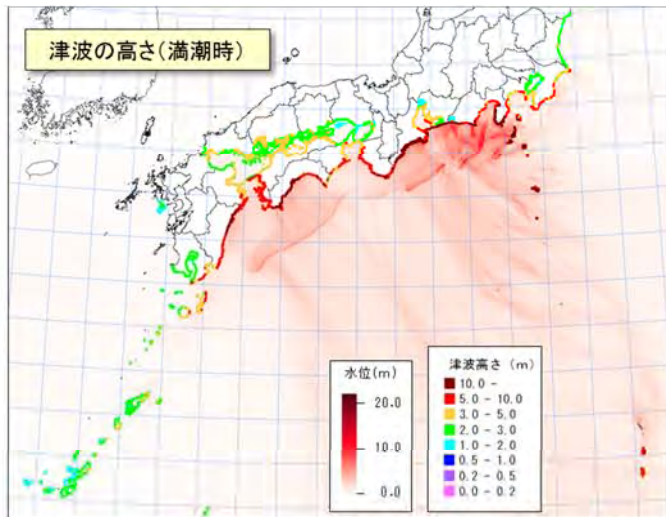
【ケース③ 紀伊半島沖～四国沖に大すべり域を設定】



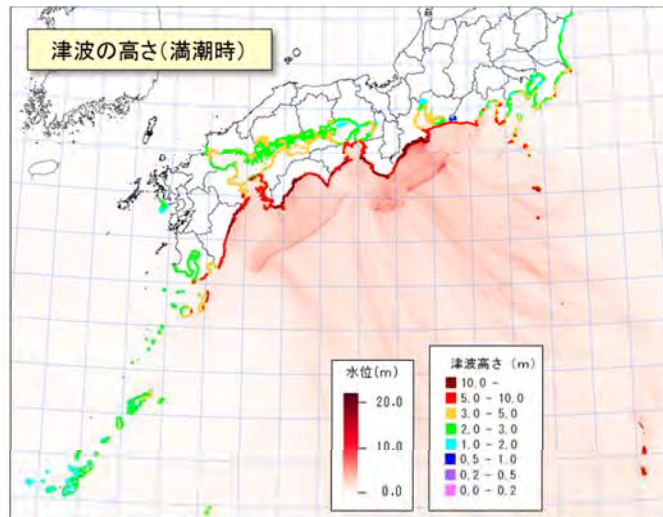
【パターン④ 四国沖に大すべり域を設定】



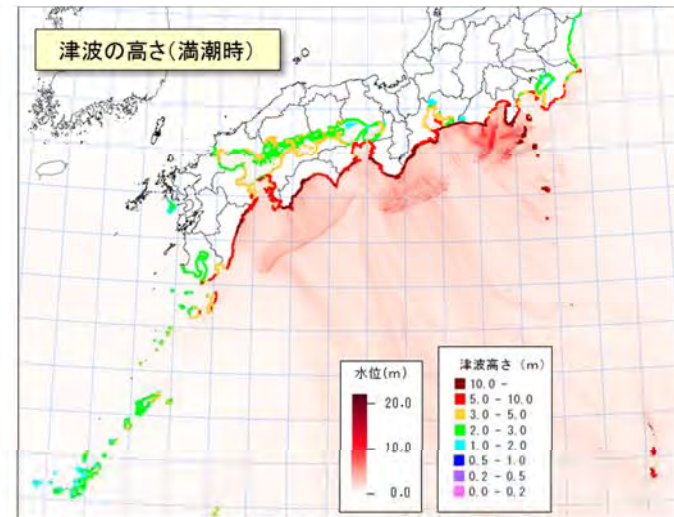
【パターン⑤ 四国沖～九州沖に大すべり域を設定】



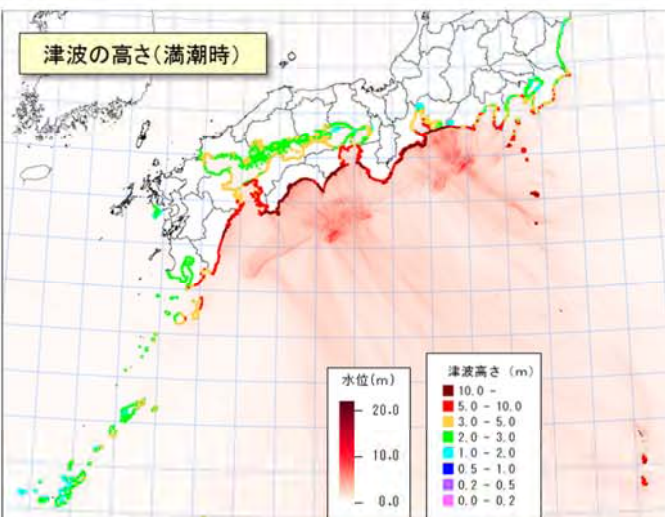
【ケース⑥ 駿河湾～紀伊半島沖に大すべり域+分岐断層】



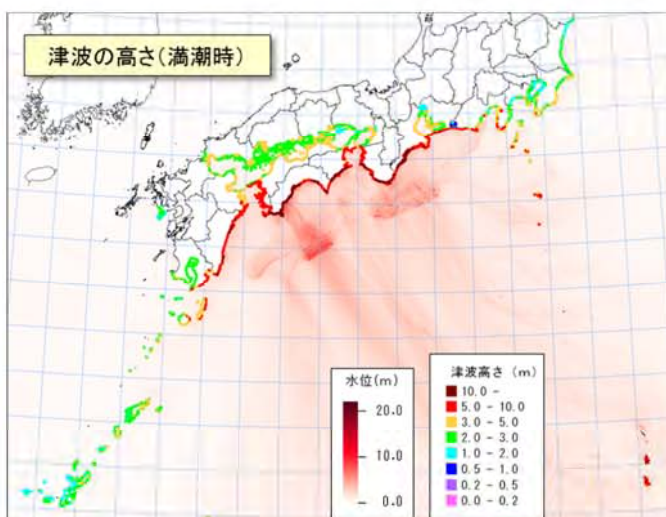
【ケース⑦ 紀伊半島沖に大すべり域+分岐断層】



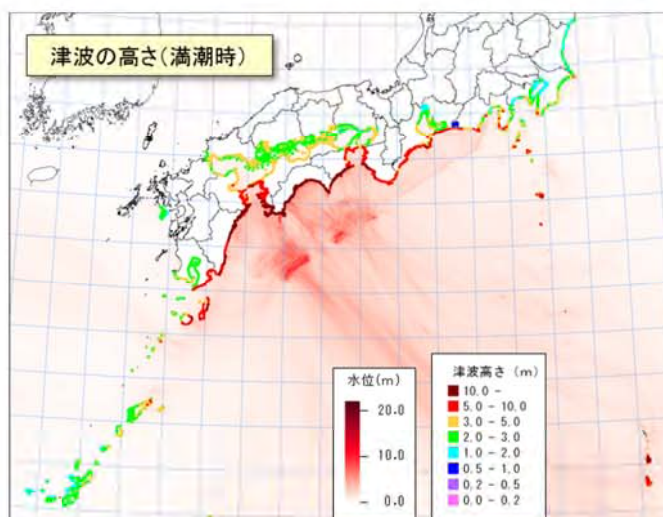
【ケース⑧ 駿河湾～愛知県東部沖、三重県南部沖～徳島県沖に大すべり域を設定】



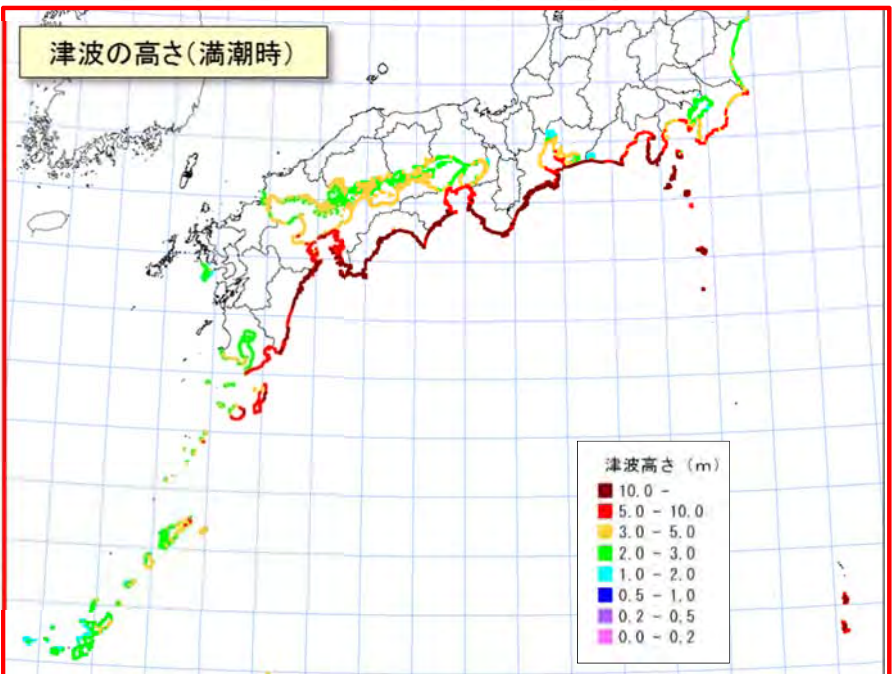
【ケース⑨ 愛知県沖～三重県沖、室戸岬沖に大すべり域を設定】



【ケース⑩ 三重県南部沖～徳島県沖、足摺岬沖に大すべり域を設定】



【ケース⑪ 室戸岬沖、日向灘に大すべり域を設定】



最大クラスの津波高  
(各ケースの最大重ね合わせ)